

## 研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたくえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室

北里大学 一般教育部

### 記

研究の名称	日本人女性のサルコペニア診断基準値に有用な骨格筋量指標の検討 -JPOS コホート研究-
対象	1996年に開始した「骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査」(Japanese Population-based Osteoporosis コホート研究)の調査開始時50歳以上の対象者で、2011年-2012年の15年次追跡調査に参加した方が本研究の対象です。調査地域は香川県さぬき市、福島県西会津町、新潟県上越市、北海道芽室町です。
研究期間	2023年5月22日 ~ 2027年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：加齢に伴い誰もが、筋肉が減少し筋力が低下するサルコペニアという状態に移行しやすくなります。サルコペニアになると、歩く速度が低下して横断歩道を青信号の間に渡れなくなったり、転びやすくなったりします。</p> <p>サルコペニアの判定に用いられる筋肉量の指標として、両腕と両脚の筋肉量(四肢骨格筋量)が用いられており、四肢骨格筋量は体の大きさと関連するため、体格値として身長や体重、BMI値(体重/身長<sup>2</sup>)で除した値が使われています。このため、加齢により身長が縮むと、四肢骨格筋量の算出値が大きくなるため、実際には筋肉量が減っていても、サルコペニアと判定されにくくなる可能性があります。</p> <p>そこで、本研究では、四肢骨格筋量を求める際に、加齢による身長短縮の影響を受けにくい体格値を明らし、日本人女性のサルコペニア判定に有用な知見を提示したいと考えています。</p> <p>利用方法：①1996年の初回調査から2011-2012年追跡調査までの約15年間の身長短縮量を求めます。身長低下量によって対象者を4つのグループに分けます。</p> <p>②2011-2012年追跡調査で得られた「握力」と「四肢骨格筋量」を体格項目である身長、体重、BMIのいずれかで除して得られた算出値を身長低下量に関する4グループ間で比較し、4グループ間の差が小さい、すなわち身長短縮の影響が小さい算出値に用いた体格項目を明らかにします。</p> <p>③研究結果は学会や論文にて公表予定です。</p> <p>本研究は、大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室 教授 玉置 淳子と北里大学 一般教育部 教授 北川 淳との共同研究として行われるため、情報は北里大学 一般教育部 北川 淳 研究室へ提供されますが、加工して</p>

	<p>個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。また、情報は北川研究室内のパスワードが設定されたパソコン内に保存され、遺漏しないように厳重に管理されます。</p> <p>対象者の方(あるいは代理人)のお申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手・閲覧できますので、ご希望の際は下記の問い合わせ窓口へご連絡ください。</p>
<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	<p>試料：なし</p> <p>情報：「骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査」として1996年に収集した年齢、身長、体重。2011-2012年に収集した身長、体重、四肢筋肉量、握力、歩行速度、骨密度。</p>
<b>利益相反について</b>	<p>大阪医科薬科大学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、大阪医科薬科大学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>また、共同研究機関である北里大学においては、北里大学の利益相反マネジメントポリシーに則して実施します。</p>
<b>研究者名</b>	
<p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 教授 玉置 淳子</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>北里大学 一般教育部 教授 北川 淳</p>	
<b>参加拒否の申し出について</b> <p>ご自身の情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができませんので、予めご了承ください。</p>	
<b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b> <p>【主管研究機関】</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室</p> <p>担当者 津田 晃司</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 2651</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1</p> <p>北里大学 一般教育部</p> <p>担当者 北川 淳</p> <p>連絡先 042-778-8259（直通）</p>	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学

学長 佐野 浩一 殿

大阪医科薬科大学

研究責任者 玉置 淳子 殿

研究の名称	日本人女性のサルコペニア診断基準値に有用な骨格筋量指標の検討 -JPOS コホート研究-
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）